

指標に関するこれまでのご意見

現在の指標（例）	R 5 実績	令和 3～5 年度施策評価の際の主な意見
地域福祉を推進する 市民交流や懇談会の回数 年 2 回以上	7 回	目標値が低すぎる。（すぐに目標値を達成できる 数値となっている）
歴史民俗博物館入館者数 11,700 人	6,965 人	目標値が高すぎる。（目標値との乖離が大きく、 実現の可能性が乏しい）
主要文化施設の利用者数 110,000 人	84,299 人	利用者数で設定している成果指標について、そ の多くをカウントが容易な延べ人数で評価して おり、純粋な利用者数で評価すべきではないか。
広聴制度利用件数 200 件	69 件	「生活困窮者支援事業において支援プランを策 定した数」や「公聴制度利用件数」のように、件 数が増えることが市（市民）にとってプラスに働 くか判断が難しい指標がある。
姉妹都市交流事業への 参加希望者数 20 人	—	「姉妹都市交流事業への参加希望者数」は、コロ ナ禍以降、事業形態が変更となっており、進捗度 を測ることができない。
年間商品販売額 990 億円	—	「年間商品販売額」は、毎年公表される指標では ないため、毎年度の進捗評価ができない。
製造業付加価値額 1,042 億円	—	「製造業付加価値額」や「年間商品販売額」につ いては、景気の状態によって左右される部分が 大きく、市の施策による影響度は低いと考えら れる。
観光入込客数 1,627,500 人	2,339,941 人	「観光入込客数」について、途中で大型観光施設 が加わったことによって目標を達成している が、基準値設定時点の対象施設で評価すべきで はないか。
都市計画道路の整備率 92.0%	82.0%	「都市計画道路の整備率」のように、国・県の工 事の進捗状況に左右されてしまう指標がある。
生涯学習出前講座の 実施回数 90 回	基準値：84 回 R3：23 回 R4：35 回 R5：50 回	「生涯学習出前講座の実施回数」や「歴史民俗博 物館入館者数」等、コロナ禍以降、実績が基準値 から大きく下がり、回復が遅れている指標の進 捗をどのように評価するかが難しい。